



完全学校週5日制についてのアンケート結果

一昨年の4月から実施され約1年半の期間が過ぎ、子どもたちも落ちついて週末を過ごしているように見受けられます。市教育委員会では、昨年に引き続き子どもたちがどのような過ごし方をしているのか調査しました。

- 調査期間 平成15年10月9日～27日
- 調査対象 市内各小学校4・6年生、中学校2年生とその保護者
- 対象者数 小学生734名、中学生412名

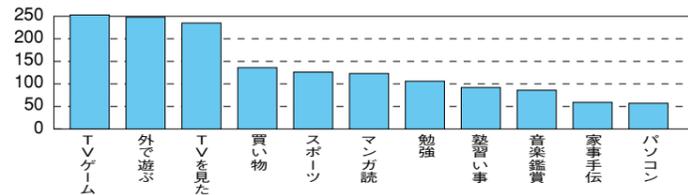
■小学校の児童へのアンケート調査から

設問1 土・日曜日の過ごし方について(複数回答)

○おもに過ごした場所はどこですか？

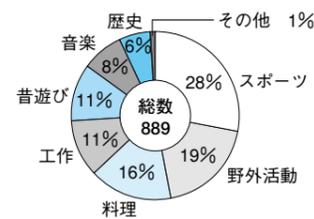
『自宅』が510人、『友人の家』が148人と続き、大半は家からあまり出ていないように思われます。

○おもに何をしていましたか？



『TVゲーム』、『外で遊ぶ』、『TVを見た』と続きますが、TVの前にいる時間が多く見受けられ、昨年の調査時とあまり変わりがないように思われます。

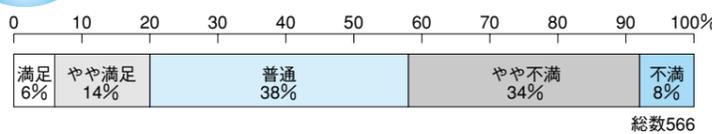
設問2 どんな事業があったら参加したいと思いますか？(複数回答)



『スポーツ』と『野外活動』を合わせると47%になり、約半数が体を動かす(体験学習)に興味を示しているようです。昨年は野外活動、今年はスポーツが最も多い回答になり、各種事業を展開する際の参考になると思われます。

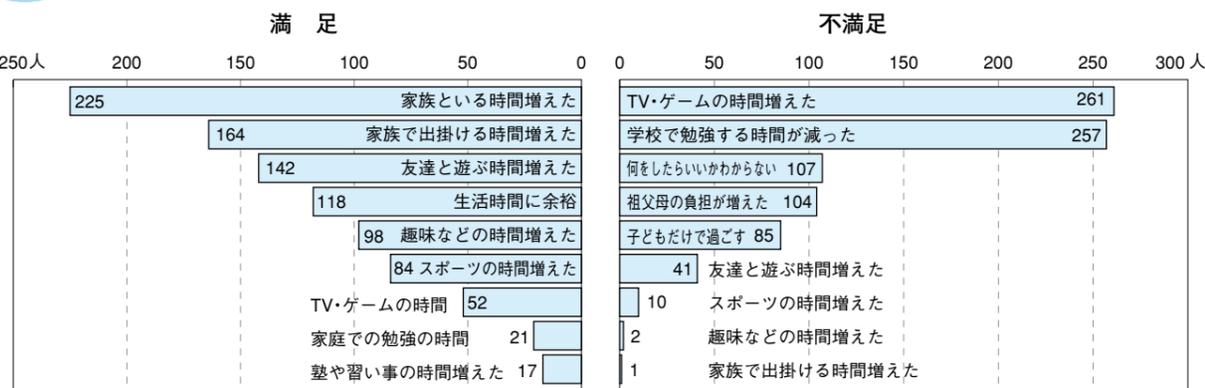
■小学生の保護者へのアンケート調査から

設問1 お子さんの土・日曜日の過ごし方をどう思いますか？



昨年と比べると、『満足』のポイントが若干減り、逆に『不満』が少し多くなりました。この結果をみると、保護者はまだ満足度が低いようです。

設問2 どのようなことが満足・不満だと思えますか？(複数回答)



【満足】で、『家族といる時間』・『家族で出掛ける時間』などが増えたことは、五日制の趣旨に沿ったものであり、【不満】では、『TV・ゲームの時間増えた』・『学校で勉強する時間が減った』と続きます。保護者の【満足】・【不満】のとらえ方は、昨年の調査内容と大きく変わりはないようです。

白石市立小原小学校



概要

市の南西部に位置し、中央部に白石川があり、周囲は山に囲まれ平坦部は極端に少ない。上戸沢・下戸沢は藩政時代の宿場であり、一部に残る家並みなどは往時をしのばせる。

小原温泉や、碧玉溪は古来より名を知られ、材木岩などの天然記念物や万蔵稲荷、百矢納めなどの文化財も多い。これらは、四季を通した自然の景観と併せ、観光資源として注目されている。

校章 昭和34年学校植林コンクール
全国特選を記念し制定された。



所在地 白石市小原字伊勢原道上1
電話 29-2026
FAX 29-2057
校長 太田 忠幸
児童数 47名
校木 かや

教育目標

心豊かでたくましい児童の育成

目指す子ども像

進んで学習する子 明るく思いやりのある子
進んで体をきたえる子

特色ある教育活動

地域と連携 運動会



昨年度より地区民体育祭と運動会を共催しています。特に全校児童で踊る「かやの実ソーラン」が好評です。

人間関係を培う活動 カルタ取り大会



自然や歴史、文化など小原の良さを46枚のカルタにまとめたものを先輩から引き継いでいます。

地域の教育力を活かした活動 昔の遊び



伝承遊びの道具などを一緒に作ったり、遊び方を教えてもらい、地域の方との交流を深めています。